

令和元年度 市民活動応援補助金 活動発表資料

【スタートアップコース】 久貝 安心暮しっく熟 実行委員会

活動事業名 久貝 安心暮しっく熟 の開講並びに支え合いの仕組みづくり

活動内容

① 団体紹介

超高齢社会を迎え、高齢者自らが出来るだけ長く医療保険や介護保険のお世話にならない為の生きがい作り、並びに日常生活に誰かのサポートが必要になった人に対する在宅支援の活動等を中心に、地域における支え合いの仕組み作りに取り組む。

② 採択事業の課題意識・対象者・目標など

医療保険や介護保険の財源確保が極めて厳しい中、高齢者は自らの健康維持の為の取り組みを行うと共に、地域の中での互いの見守り合い・支え合いの仕組み作りが強く求められている。きっかけ作りとして講座と交流会を兼ねた「久貝安心暮しっく熟」を毎月1回、2時間程度開催。

- ① 繋がり合いのきっかけ作りとしての講座の開催
- ② 講座のあとの交流会を通じてより緊密な繋がり合いを深める
- ③ 各種サークルへの参加、日常的な見守り合い、防災活動への参加等、行動にどのように繋げるか

課題解決型(NPO)市民活動団体と、地縁活動団体(自治会、老人クラブ、民生児童委員)、行政機関(市、社協、包括支援センター)との連携・協力で開催。地区で開業されている専門職(医師、歯科医師、福祉施設の有資格者)や事業者(企業、お寺、記念館、飲食店)に講師をしていただき、地域に暮らす人々が「共助」の大切さを共有することにもつなげようとしている。結果、「久貝地区における要介護認定を受ける最初の年齢の平均値」がどれだけ延伸したのかを目標値とする。

③ 実際に事業を行ってどうだったか、補助金をどう活用したか、成果や今後の見通しなど

補助金は講座受講者を募集するチラシの企画・印刷、講師謝礼や資料作成のための消耗品費などに活用。受講申込み者数は90名。毎回の平均参加者概ね50%。まずは参加者同士の繋がり合いの進化が進行中。今後はいかに「具体的行動」にどのように繋げていくかを考えたい。

